



第 80 号 2026.3

# あまみ市議会だより



▲ 12月24日 細議会（令和7年第4回定例会最終本会議）

## 奄美・沖縄世界自然遺産



### 第4回定例会

令和7年12月9日～12月24日

発行／奄美市議会  
編集／奄美市議会だより編集委員会  
〒894-8555  
鹿児島県奄美市名瀬幸町 25 番8号  
TEL：(0997) 52-1111  
FAX：(0997) 52-2815  
Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

奄美市議会新体制紹介・・・・・・・・・・・・・・・・P2～P3

第4回定例会一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・P4～P8

第4回定例会常任委員会・・・・・・・・・・・・・・・・P9～P10

第4回定例会の主な議案・・・・・・・・・・・・・・・・P10～P11

あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・P12

# 奄美市議会 新体制がスタートしました

令和7年12月9日の本会議において、正・副議長の選挙、各常任委員長  
の選出のほか、常任委員の選任などを行いました。決定した議会構成は次の  
とおりです。

## 議長

ただ よしかず  
**多田 義一**  
(無所属)



## 副議長

さかえ やすえ  
**栄 ヤスエ**  
(公明党)



御選任いただき、心から感謝を申し上げます。

議会一丸となって、是々非々の観点から  
しっかりと議論が尽くせる、そのような議  
場の場を整えていくよう全力で取り組んで  
まいる決意でございます。

どうか2年間よろしくお願いいたします。

(※就任あいさつより)

多田議長をお支えしながら、公正公平な  
議会運営にしっかりと邁進してまいりたい  
と思います。

また、改めて女性の声、若者の声をしっ  
かりと届けられるような開かれた議会とし  
て頑張ってまいりたいと思います。

(※就任あいさつより)

## 奄美市議会 会派構成

(※届出順)

無所属	チャレンジ奄美	公明党	自民党新政会	日本共産党	会派他
7名	5名	4名	5名	1名	人数
前田 要 泉 義昭 帯屋 誠二 瀧 真一郎 盛 剛 多田 義一 奥 輝人	朝木 二仁 西 忠男 幸多 拓磨 弓削 洋平 正野 卓矢	叶 幸治 大庭 梨香 栄 ヤスエ 与 勝広	竹山 耕平 奥 晃郎 伊東 隆吉 永田 清裕 川口 幸義	崎田 信正	氏名

## 常任委員会

奄美市議会には、常任の委員会として総務企画・文教厚生・産業建設の3つが設置されています。市政に関する分野を分けて担当し、調査及び議案、請願等の審査を行っています。全ての議員がいずれかの委員会に属しています。

### 総務企画委員会

※市の総合的な計画や、防災・地域コミュニティ活動・ふるさと納税・財政・市税・消防などに関する分野を担当

委員長

副委員長



帯屋 誠二



大庭 梨香



瀧 真一郎



弓削 洋平



盛 剛



永田 清裕



多田 義一



奥 晃郎

### 文教厚生委員会

※健康増進・福祉・環境・教育・文化などに関する分野を担当

委員長

副委員長



幸多 拓磨



与 勝広



朝木 一仁



崎田 信正



奥 輝人



竹山 耕平



川口 幸義

### 産業建設委員会

※農林水産業・商工観光業・住宅・道路・上下水道などに関する分野を担当

委員長

副委員長



泉 義昭



伊東 隆吉



西 忠男



正野 卓矢



叶 幸治



前田 要



栄 ヤスエ

### 議会運営委員会

※議会の運営に関することを決める委員会

◎永田 清裕 ○叶 幸治 瀧 真一郎 正野 卓矢 崎田 信正 奥 輝人

(◎は委員長、○は副委員長)

# 市政を問う

一般質問とは、議員が、市政全般にわたる様々なテーマについて、市の方針や市長の考え、施策の状況などを問うものです。12月10日から12日の3日間で12名の議員が市当局に問い質しました。主な項目について、議員本人が質問と答弁を要約したものをご紹介します。

## 1日目

- 1 帯屋 誠二
- 2 永田 清裕
- 3 朝木 一仁
- 4 奥 輝人

## 2日目

- 1 正野 卓矢
- 2 栄 ヤスエ
- 3 幸多 拓磨
- 4 大庭 梨香

## 3日目

- 1 叶 幸治
- 2 崎田 信正
- 3 盛 剛
- 4 泉 義昭



## 録画配信

本会議や一般質問の様子をYouTube（ユーチューブ）にて録画配信しています。録画配信では、紙面の都合により掲載できなかった一般質問の内容もすべてご視聴いただけます。

右側の二次元バーコードをスマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会のホームページ（奄美市ホームページ内）からご覧ください。

録画配信は  
こちら→  
(YouTube)



## 傍聴・議会中継

奄美市議会 録画配信

議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。議会の傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧になれます。

### 傍聴

事前連絡は不要です。市役所名瀬庁舎8階にお越しください。

### 議会中継

議会の様子をインターネットで生中継しています。

市議会のホームページ（市ホームページ内）からご覧いただけます。

県内で条例を制定している市町村は6市町村。条例を制定した自治体の多くは、国の『犯罪被害者等給付金支給法』を補完する形で支援金制度も制定しているようである。奄美市としては奄美大島被害者支援ネットワークの動向を踏まえて議論を深めたうえで条例の制定を判断していきたい。

『啓発』『他団体との連携』である。県内で条例を制定している市町村は6市町村。条例を制定した自治体の多くは、国の『犯罪被害者等給付金支給法』を補完する形で支援金制度も制定しているようである。奄美市としては奄美大島被害者支援ネットワークの動向を踏まえて議論を深めたうえで条例の制定を判断していきたい。

問 奄美市の犯罪被害者保護と犯罪被害者保護条例の策定について



帯屋 誠二  
無所属  
(総務企画委員長)

犯罪被害者保護と  
おがみ山公園について

調査・研究を続けていきたい。登頂イベントについては、関係部署と協議し考えていきたい。外来種の駆除は重要な課題であるため、官民連携で取り組んでいきたい。展望広場においては360度一望できる状況に至っており、眺望を一層改善するため樹木の実態調査や眺望への影響を調査したうえで伐採を行いたい。

問 おがみ山公園の活用と整備について

答 行幸広場や復帰記念広場の他、複数の記念碑も建立されており、歴史的・文化的価値を有していると認識している。学校の遠足や鹿児島大学のフィールドワークなど自然学習の機会にも活用されている。また、市街地中心部に位置しており、アクセシビリティや眺望性も優れている。提案された『野鳥が観察できる公園』については観光資源としても魅力的であるので、専門家の意見も伺いながら調査・研究を続けていきたい。

## 『奄美市誌』の制作について



永田 清裕  
自民党新政治  
（総務企画委員）

**問** 市誌の必要性と今後の計画について

**答** 自治体誌は歴史から政治・産業・文化まで地域の歩みを正確に記録して後世に継承する重要な役割を担う。本市が「未来の奄美市づくり計画」を掲げ「しあわせの島」を目指して施策全般に取り組むにあたり、教育的分野を超えた意義があり、計画全般の基礎となるものとして活かされると考える。今後の見通しは、教育委員会が開始している群島内他自治体の聞き取り調査を更に進め、組織体制を含めた全庁的な取組みについて協議する。

**問** 物価高騰対策について

**答** 国は自治体が地域の実情に応じて生活者や事業者を支援するための「重点支援地方交付金」を拡充した。本市では生活者支援として「物価高心援

## 空き家対策について



朝木 一仁  
チャレンジ奄美  
（文教厚生委員）

**問** 相続登記について

**答** 令和7年2月からの市内全域の空き家実態調査により1年以上の非居住空き家は1177件（名瀬682件、住用164件、笠利331件）確認され、令和元年調査の1049件から128件増加している。現在所有者確認が進められており、登記済みの建物は名瀬・住用・笠利で合計590件、未登記建物は合計305件である。名瀬では319件、笠利では74件の登記名義人が死亡しており、相続登記が未了。残る建物の調査を引き続き進めている。

**問** あやまる岬観光公園グラウンド・ゴルフ場整備について

**答** 休憩施設等の増設計画はないが、既存休憩施設のうち日よけ効果が低い2か所の屋根を遮光資材で覆うなど、夏場の日差し対策を計画している。

**問** その他の質問事項

◎住用マンガロープパークリニューアル事業について

◎地域おこし協力隊3名が主に空き家実態調査を担い、所有者調査や活用意向調査を行っている。また行政協力員等への啓

## 安田市長2期目に向けた取り組みについて



奥 輝人  
無所属  
（文教厚生委員）

**問** 3地区の特色ある発展について

**答** それぞれが有する個性を踏まえながら、地域の自主性と創意工夫を尊重し、全体としての一体的な発展につなげていく。奄美市「未来づくり」総合戦略2025及び住用・笠利の地域創生戦略で掲げる施策を着実に実行していく。本市が目指す将来像「自然・人・文化が紡ぐしあわせの島」の美現につなげていく。

**問** 安田カラーの創出

**答** 政治理念である「政治は弱者を助けるためである」ということ、行動指針である現地現場やスピード感を重視した「対話と連携、そして挑戦」を大事にする姿勢は変わらずに磨きをかけていく。市民を守り地域を支えるとともに、新たな価値やスタンダードを生み出す

**問** 政治理念である「政治は弱者を助けるためである」ということ、行動指針である現地現場やスピード感を重視した「対話と連携、そして挑戦」を大事にする姿勢は変わらずに磨きをかけていく。市民を守り地域を支えるとともに、新たな価値やスタンダードを生み出す

という気概をもって、新たな挑戦を続けていく。

**問** フライト農業・フライト輸送の推進について夏場における台風対策の現状は

**答** 定期船欠航時の農産物の航空輸送は輸送量の制限や優先順位から実施が困難であり、現時点でもその状況は変わらない。

**問** 平時のフライト輸送について

**答** フライト輸送の推進については、農産物の鮮度向上による付加価値の向上や生産者の収益改善につながる可能性がある一方、現行の物流手段やコスト構造を踏まえ、費用対効果等を慎重に検討すべきものと認識している。

**問** さとうきびの振興策（機械化一貫体系の確立・普及）について

**答** 規模拡大や機械導入希望者の情報収集を行い、農地の幹旋や事業を活用した機械導入への支援を行い、機械化一貫体系を推進していく。

# 吹奏楽部の楽器運搬支援

## 「どうして」



正野 卓矢  
チャレンジ奄美  
(産業建設委員)

**問** 楽器運搬支援の現状・今後の展望について

**答** 大島地区等を代表して文科省及び文化庁が主催・共催又は後援する九州及び全国大会に参加する際は補助がある。吹奏楽部は学校備品として楽器購入も行っており他の部活動との公平性にも配慮した制度設計が必要。財源確保が重要な課題。

**問** 出生数の減少について

**答** 人口の社会増減数をプラスに転じさせるターゲット層を子育て世代とすることで、将来予測の出生数を上回るという目標を設定している。

**問** 誰もが誰でも通園制度の目的と現場の懸念について

**答** 目的は子どもの育ちと保護者支援。本格実施に先立ち、保育士確保や労働環境改善に向けた議題を共有しており、マンモス

タクトスペースの確保やデジタル技術の活用等を用いて負担軽減を図る。

**問** ユーバーサルツーリズムの可能性について

**答** 高齢者や障がいのある方に安心して旅行を楽しむだけでいいだけの環境を整備することは将来の観光需要を確保していく上で大変重要であるが、本市の補助事業が事業者全体に浸透していないことが課題。バリアフリー化等の環境整備が進むことは観光客だけでなく市民にとっても住みやすい環境が整うことに繋がるため今後国・県の支援体制を踏まえつつ、官民連携しながら推進していく。

**問** 自宅に入浴設備を持たない方への支援について

**答** 住環境の改善が第一。市営住宅への転居やリフォーム補助については建築住宅課が、その他はつながる相談室が相談を受け付ける。奄美市社会福祉協議会が窓口である貸付制度等も案内し、対応に取り組んでいきたい。

# 市長の政治姿勢について



栄 ヤスエ  
公明党  
(産業建設委員)

**問** 2期目の123項目のマラエストについて

**答** 本市総合計画の将来像「自然・人・文化が紡ぐしあわせの島」の実現に向けて、新しい時代に対応するため、「持続可能に『かかせ』地域づくり」「安心して、ゆたかにくらせる『まもる』地域づくり」「次世代を育む好循環を生み出す『そだてる』地域づくり」「市民に身近で頼りになる基盤づくり」「新しい課題への対応」の5つの柱を立て、課題に負けない素晴らしい奄美市を作っていく。

**問** 重点支援地方交付金について

**答** 「物価高応援プレミアム商品券」を発行販売し、「下水道の基本料金免除」を来年3月まで延長する。また国の支援で「電気・ガス料金負担軽減支援事業」や0歳から高校3年

生までの子どもに一人あたり2万円を支給する。さらに、地域経済の下支えと活性化を図るため、市内事業者への支援として「物価高騰対策資金利子補給事業」を行う。

**問** 本市における犯罪被害者支援、性被害・DV被害の相談支援について

**答** 本市、奄美警察署法テラス奄美など官民19の機関で組織する「奄美大島被害者支援ネットワーク」が支援活動を推進している。本市では「家庭児童相談室」を設置し、女性相談支援員や保健師を配置して寄り添った支援を行っている。

**問** 本市における犯罪被害者支援条例の制定について

**答** 全国の市町村では約850の自治体が制定。鹿児島県では43市町村のうち6自治体が制定、19市では鹿児島市が制定している。関係機関も含め総合的に議論を深め検討していく。

# インクルーシブ教育について



幸多 拓磨  
チャレンジ奄美  
(文教厚生委員長)

**問** 合理的配慮義務化への対応は

**答** 合理的配慮の提供までの流れにおいては、本人又は保護者からの申し出の表明以外にも、学校が先に気付いて本人・保護者に確認をとる場合もある。いずれの流れにおいても、関係者による建設的対話を通じて合意形成を図り、決定していくことを大切にしている。

**問** 議員ご指摘の「先にハードルを下げる取組」については、障害のある方が直面し得る社会的障壁をあらかじめ除去する観点から、他の障害のある方等への波及効果について

も考慮した環境の整備を行うことが有効と考える。これまでも老朽化に伴う改修時に、バリアフリー化を踏まえた改修を行う等の取り組みを進めてきている。今後も環境整備

において、多くの方が利用しやすいユバーサルデザインを踏まえた環境を1つの視点として、大切にして参りたい。

**問** インクルーシブ教育と道徳・倫理の醸成について

**答** 本市の特別支援学級に在籍する児童生徒数は、児童生徒が減少傾向の中で増加傾向にあり、このことは、インクルーシブ教育を踏まえた特別支援教育への理解が進んだ結果と考えている。インクルーシブ教育は人権教育を土台とし、障害の有無に関わらず、お互いを理解し、思いやる中で進められていくものであり、子供たちの道徳性及び倫理観を培い人格の根幹を育む大きな力となることが期待される。これまでも本市教育委員会が大切にしてきた「人権教育を根幹とした学校経営」という考え方に基つき、今後の教育計画への反映も含めてインクルーシブ教育を推進して参りたい。

## 5歳児健診について。 河川の整備状況について



大庭 梨香  
公明党  
総務企画副委員長

**問** 5歳児健診導入の意向は

**答** 国の方針から5歳児健診の重要性は認識しており、次年度以降の早期実施に向け検討を進めている。

**問** プレコンセプションケアの一環である児童・生徒や若い女性の低体重・低栄養等への保健指導の現状について

**答** 市内28校のうち13の小中学校において、やせすぎを課題視した保健指導を実施。20〜30代を対象とした若年健診やイベントの場を活用した保健指導を行っている。

**問** 奄美豪雨災害から15年、河川等の整備状況について

**答** 土砂堆積が進行すると大雨時の河川の流下能力が低下する可能性がある。河口部の変化を継続的に把握し必要に応じて

県入土砂撤去を要望する。

**問** 川内川本流や支川の定期的な管理や予算要望等について

**答** 川内川の河道内で土砂堆積や草木が繁茂している箇所があり、流下能力が低下し水流停滞の恐れがあるため、土砂撤去等を県へ要望している。県と連携し河川整備を推進していく。

**問** 河口閉塞を防ぐための定期的な管理（土砂撤去）について

**答** 川内川が流入する内海が外海と接続する箇所の土砂堆積については、県入土砂掘削等の対策を要望する。

**問** 教訓を風化させないよう内海周辺の市道等に水位高を示す表示板を設置できないか

**答** 内海周辺の浸水の高さを正確に示す記録が残っていないため、当時の写真等を活用するなどして周知を図り、市民の防災意識向上に繋がるよう努めたい。

## 積立金の運用について



叶 幸治  
公明党  
産業建設委員

**問** 基金の数及び現在高・運用実績について

**答** 一般会計・特別会計合わせて23基金。9月末時点での全基金残高187億5973万5000円。現在、総額30億円を運用。令和6年度実績は国債・県債・財投機関債へ運用し、運用益は2215万5761円。

**問** 複合運用型による一括運用での債券購入について

**答** 複数の基金を一体のものとして、基金全体をまとめて管理する手法で、メリットは基金全体の流動性の確保、全体の運用効率を高める、運用事務の効率化など。新たな財源確保の観点から大変有効である。運用収入の配分方法等の運用ルール、体制整備が不可欠で、他自治体事例も勉強しつつ検討して参りたい。

**問** 奨学金返済者支援について

**答** 本市の奨学資金を返還する奨学生に代わり、雇用する企業が市に直接返還を行う「企業代理返還制度」を導入している。本制度は、奨学生にとって奨学金返還の経済的負担を軽減、企業にとっては福利厚生の実通じ人材確保や若者の定着促進に寄与するほか、税制面でメリットもあり、双方に非常に有利な制度。現在、制度に賛同し合意書を交わした企業は6社、代理返還を行った実績はまだない。制度の認知度向上と賛同企業数の増加にむけ積極的な広報活動が必要。制度の活用促進を図って参りたい。

**問** 日本学生支援機構の奨学金返還支援制度の現状・周知について

**答** 実際に導入を確認している事業所もある。人口減少対策、地域経済の活性化に寄与するものと認識。本市の制度と併せて周知に努めて参りたい。

## 市長公約で防衛に関して 示されなかった理由は



崎田 信正  
日本共産党  
文教厚生委員

**問** 南西諸島に属する奄美の要塞化が進むなか、いろんな出来事が起こっており、これまで以上の軍事化が推測できる状況で、任期4年間の市長選挙にあたって市長の公約が地元新聞で紹介されているが、奄美の経済、自然防衛など自衛隊との関わりも大きいかと思うが、防衛政策に賛成反対を問わないが、公約に触れていないのはなぜか

**答** 我が国の平和と、国民の生命と財産を守ることを防衛政策について、国の極めて重要な責務と考えており、一方で私策定したマニフェストについては、本市が主体的に取り組む政策を掲げたものである。

切にする意味から宣誓書の文言はどっとなつていないのか示せ

**答** 本市の宣誓書は「私は、ここに主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、かつ、擁護することを固く誓います。私は、地方自治の本旨を体するとともに公務を民主的かつ能率的に運営すべき責務を深く自覚し、全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行することを固く誓います。」となつている。

教員の宣誓書は「私は、ここに、主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、且つ、擁護することを固く誓います。私は、教育を通じて国民全体に奉仕する教育公務員の職務とその責任の特殊性を深く自覚し、誠実且つ公正に職務を執行することを固く誓います。」となつている。

## 農作物鳥獣被害対策について



盛剛  
無所属  
(総務企画委員)

**問** アマミノクロウサギによる農作物の被害品目と過去5か年の被害金額は

**答** 現在はタンカンのみ。令和4年度17万7000円、5年度24万8000円、6年度54万7000円。年々増加中。

**問** 被害防止対策は

**答** 既設のイノシシ侵入防止柵にアマミノクロウサギ対策用のワイヤーメッシュ柵を追加設置する実証を予定している。

**問** イノシシ被害対策についてモンスターウルフの導入は考えられないか

**答** クマやシカ等の被害軽減策で導入されており、イノシシ被害対策の有効性を引き続き注視したい。

**問** ガバメントハンターの導入は考えられないか

**答** 国や他自治体の導入事例等を注視し、適切な体制構築に努めたい。

**問** ハブ咬傷対策について直近の咬傷者数は

**答** 令和3年度9人、4年度7人、5年度14人、6年度13人。

**問** 咬傷者のうちドクターヘリ救急搬送の件数は

**答** 令和3年度5件、4年度4件、5年度2件、6年度6件。

※本市のみではなくドクターヘリで搬送された全県の件数

**問** ドクターヘリ着陸のための小学校等の校庭使用協定はされているか

**答** 本市小中学校28校のうち、ドクターヘリ用の離着陸場を有する12校とは使用承諾を行っている。

**問** ハブ一匹当たり5000円に引き上げて捕獲を奨励し咬傷の害を減らすべきと考えるが如何に

**答** 現状維持で考えている。

**問** 消費税減免の可能性について

**答** 令和6年度地方消費税交付金は約10億で貴重な財源であり、国において議論すべき。

## 空き荒廃市営住宅・共同墓地について



泉義昭  
無所属  
(産業建設委員長)

**問** 用途廃止後の跡地活用について

**答** 外金久C・D団地と中金久C団地を用途廃止し、民間宅地として売却・貸付を推進する。外金久E団地は建替えによる新たな公営住宅建設地として準備を進めている。

**問** 赤木名港の漁協跡地の活用について

**答** 奄美漁協と密接な関係団体である魚匠が荷捌き施設隣接地での活動継続を希望していると伺っている。奄美漁協で今後の活用計画を検討後、本市との具体的な協議が必要になると考えている。

**問** 共同墓地の管理状況について

**答** 永田墓地は過去に公的整備されたもので現在も市が維持管理している。各地域の集落墓地は町内会等が管理しており、危険箇所修繕等の相談には

## 共同墓地について

「奄美市集落共同墓地無縁化対策事業」を案内し、集落墓地の整理・統合や墓地内の危険箇所の整備を支援している。助成額は補助対象経費の4分の1以内で、限度額は100万円。嘱託員会や駐在員会での説明や広報誌等で周知啓発に努める。

**問** 一時仮置き場裁断機の導入について

**答** 海岸漂着物処分作業の効率化や処分費削減のため混合廃棄物裁断機が令和8年2月納品予定。

**問** 赤木名港の地形変化に伴う調査等について

**答** 事故未然防止のため現況調査を行い問題の解消に努める。

**問** 農業散布ドローン対応について

**答** 4月下旬から5月初旬の害虫一斉防除での活用を目指し、県経済連と委託作業の協議を行うとともに生産者へ周知する。

【その他の質問事項】

◎自家用有償旅客運送バスについて

### 12月24日 紬議会

大島紬をPRするため、1977年から12月定例会の最終日を「紬議会」とし、出席者は全員大島紬を着用して議会に臨んでいます。



### 12月25日 日本復帰記念の日のつどい



▲ 献花の様子

### 1月3日 二十歳のつどい



▲ 奄美市議会を代表して多田議長が祝辞を述べました。



# 第4回定例会 常任委員会 審査概要

【文教厚生】 12月17日 左記の日程で議案について  
 【産業建設】 12月18日 審査しました。  
 【総務企画】 12月19日 委員会の審査について一部  
 ご紹介します。

## 文教厚生委員会

### 令和7年度奄美市一般会計補正予算 (第6号)

**問** 物価高対応子育て応援手当の支給スケジュールとその対象者について

**答** プッシュ型で支給できる対象者に対し、支給通知を1月初旬に発送。その後、約2週間の受け取り拒否期間を設け、遅くとも1月23日には支給対象者を決定し、翌週に口座振込を行う計画。

公務員で児童手当を職場から受給している方、基準日以降の新生児等、申請が必要な方に対しては、1月中旬以降に申請の案内を発送したいと考えている。

プッシュ型・申請型併せて3900世帯、対象児童6850人と見込んでいる。

**工事請負契約の変更契約の締結(奄美市斎場大規模改修・火葬炉入替工事)について**

**問** 変更して行う改修の詳細について

**答** 既存外壁のタイルを撤去し躯体の状態を確認したところ、面が非常に荒れていたため、円滑にするための補修を行う。その他、床シートを撤去した後の雨漏り補修や、外構の床面調整を行うものである。

**奄美市血液供給体制に関する請願**

【請願事項】

・鹿児島県(以下県という)は、日本赤十字社を主体とした、かつてあった奄美大島への血液備蓄所再設置を進める交渉をしていただき

たい。

・県は、再設置が叶うまでの間、日本赤十字社を主体として病院内に血液製剤を備蓄する体制を作る交渉をしていただきたい。

・県は、本問題の経緯と周辺事項について奄美群島島民に対してわかりやすく随時開示していただきたい。

・県は、離島地域の平時血液融通について厚生労働省と交渉していただきたい。

【採決の結果】

全会一致で採択すべきものと決した。

## 産業建設委員会

### 令和7年度奄美市一般会計補正予算 (第5号)

**問** セグロウリミバエの分布状況について

**答** 令和6年度、沖縄で国内初の発生が認められた後に、令和7年の3月に徳之島で奄美群島内初の発生を確認。その後、奄美市では8月に初誘殺を確認しており、県報道では、12月8日まで、喜界町を除く奄美群島の11市町村で1148匹のセグロウリミバエの誘殺を確認している状況。

**問** 土木行政指定寄附金(1000万円)について

**答** 関東在住の本市出身の方から、おがみ山公園の園内設備の充実や環境整備に役立ててほしいとの要望のあった寄附金である。

要望に沿った整備を進めていきたい。



▲ おがみ山公園からの眺望

### 令和7年度奄美市一般会計補正予算 (第6号)

**問** 物価高応援プレミアム商品券発行事業について

**答** 市民の生活負担を軽減することを主目的としていることから、利用頻度の高い大型店舗での利用も可能とし、利便性を高める設計としている。なお、地元事業者への配慮から、10枚中4枚を大型店舗「併用券」、6枚を地元事業者「専用券」とし、両立を図っていきたい。

### 令和7年度奄美市下水道事業会計 補正予算(第3号)

**問** 官民連携等基盤強化推進事業(ウォーターPPP)について

**答** 職員不足、高齢化、更新需要の増大や収益の減少といった、人・物・金の課題に対する自治体の対応策として、インフラ整備を民間企業と連携し、管理運営を行う官民連携方式。事業の持続可能性を確保する有効な手段として、国が推奨している。

# 総務企画委員会

令和7年度奄美市一般会計補正予算  
(第5号)

**問** 市民税所得割(現年分) 1億1000万円増額の要因について

**答** 医療分野の徴収税額は減っているが、建設業、運輸業、郵便業の徴収額が伸びている結果である。

**問** 訓練交付金583万円について

**答** 令和7年2月19日から3月7日にかけて行われた訓練に交付されたものである。訓練交付金は、日本と外国の共同による、特定防衛施設以外の防衛施設で実施する訓練が対象で、これに奄美駐屯地が該当したものの「Jアラート」に関する改修について充当した。

**問** 防災行政無線Jアラート機器交換業務委託627万円について

**答** 国から直で防災無線を鳴らして住民の方にお伝えする、いわゆるJアラートの改修について、防災行政無線の委託保守点検を行っている業者に委託するもの。

離島地域の奄美看護福祉専門学校存続に関する国への支援を求める請願  
▼採択すべきもの

**問** 専門学校に対する国の補助制度について  
**答** 専門学校として厚生労働省の管轄であり、看護師養成所運営費補助があるが、この補助制度だけでは運営が難しい。

## 第4回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	陳情の処理状況について (陳情第8号 景観審議会への地元集落住民意見の反映を求める陳情(陳情事項1及び2))		
	専決処分の報告について (専決第7号 市営住宅の使用料滞納に係る訴え提起前の和解申立てについて)		
	専決処分の報告について (専決第8号 市営住宅明渡し等請求に関する訴訟の提起について)		
	専決処分の報告について (専決第9号 市営住宅明渡し等請求に関する訴訟の提起について)		
	専決処分の報告について (専決第10号 市営住宅家賃の徴収に係る民事訴訟法第395条の規定によりみなされる訴えの提起について)		
	専決処分の報告について (専決第11号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)		
議案第89号	令和7年度奄美市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決	全委員会
議案第90号	令和7年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	文教厚生
議案第91号	令和7年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	文教厚生
議案第92号	令和7年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	文教厚生
議案第93号	令和7年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	文教厚生
議案第94号	令和7年度奄美市訪問看護特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	文教厚生
議案第95号	令和7年度奄美市水道事業会計補正予算(第3号)について	原案可決	産業建設
議案第96号	令和7年度奄美市下水道事業会計補正予算(第3号)について	原案可決	産業建設
議案第97号	名瀬市、大島郡住用村及び同郡笠利町の廃置分合に伴う地域自治区の設置に関する協議により定められた事項を変更する条例の制定について	原案可決	総務企画

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案第98号	奄美市財産の交換, 譲与, 無償貸付け等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第99号	奄美市希少野生動植物の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第100号	奄美市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第101号	奄美市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第102号	奄美市木工工芸センター施設の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第103号	奄美市市民交流センター及び奄美市名瀬公民館の指定管理者の指定について	原案可決	文教厚生
議案第104号	奄美市奄美振興会館の指定管理者の指定について	原案可決	文教厚生
議案第105号	工事請負契約の変更契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第106号	工事請負契約の変更契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第107号	工事請負契約の変更契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第108号	令和7年度奄美市一般会計補正予算(第6号)について	原案可決	文教厚生 産業建設
議案第109号	令和7年度奄美市水道事業会計補正予算(第4号)について	原案可決	産業建設
議案第110号	奄美市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第111号	奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第112号	奄美市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第113号	監査委員の任命について(議会選出監査委員 瀧 真一郎)	同意	本会議
議案第114号	教育委員会委員の任命について	同意	本会議
発議第5号	奄美市血液供給体制に関する意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第6号	離島地域の奄美看護福祉専門学校存続に関する国への支援を求める意見書の提出について	原案可決	本会議

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
請願第1号	奄美市血液供給体制に関する請願	医療法人圭泉会 稲医院 稲 源一郎 名瀬徳洲会病院 院長 満元 洋二郎	採択	文教厚生
請願第2号	離島地域の奄美看護福祉専門学校存続に関する国への支援を求める請願	学校法人日章学園 理事長 後藤 洋一 奄美看護福祉専門学校 校長 向井 奉文	採択	総務企画

## 議会の動き

### 【11月】

- 2日 奄美市民体育祭
- 4日 鹿児島県市議会議長会臨時総会、  
国会議員との意見交換会
- 5日 全国市議会議長会評議員会
- 19日 全員協議会、  
議員定数・報酬等特別委員会
- 24日 関西奄美会総会・芸能大会
- 26日 奄美群島地区植樹祭

### 【12月】

- 3日 議会運営委員会
- 9日 第4回定例会開会、  
議会運営委員会、全員協議会
- 10日 一般質問（～12日）
- 12日 議会運営委員会
- 16日 本会議、全員協議会、会派代表者会、  
議員定数・報酬等特別委員会、  
奄美看護福祉専門学校30周年記念式典
- 17日 文教厚生委員会
- 18日 産業建設委員会
- 19日 総務企画委員会
- 20日 奄美市まなびフェスタ
- 24日 最終本会議（紳議会）、全員協議会
- 25日 議会運営委員会、  
日本復帰記念の日のつどい

### 【令和8年1月】

- 3日 奄美市二十歳のつどい  
（笠利地区、名瀬・住用地区）
- 5日 「紳の日」のつどい、奄美市合同年始会
- 7日 政策立案推進会議
- 9日 奄美市建友会安全祈願祭懇談会
- 11日 消防出初式
- 14日 議員定数・報酬等特別委員会
- 17日 名瀬町内会・自治会連合会「新年会」
- 18日 成人祝賀奄美市地区対抗駅伝競走大会
- 19日 鹿児島県市議会議長会臨時総会
- 20日 鹿児島県市議会議員研修会
- 22日 奄美大島商工会議所新春賀詞交歓会
- 30日 全国離島振興市町村議会議長会総会  
（オンライン）
- 31日 奄美大島分屯基地開設50周年記念式典

## 市議会だより 編集委員会

【委員長】 崎田 信正  
 【副委員長】 西 忠男  
 【委員】 帶屋 誠二  
 叶 幸治  
 盛 剛  
 伊東 隆吉

## 第1回定例会の予定

### 令和8年2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
				開会	常任 委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	常任委員会	本会議				
22	23	24	25	26	27	28

### 令和8年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		一般質問				
8	9	10	11	12	13	14
		本会議		予算委員会		
15	16	17	18	19	20	21
	予算委員会					
22	23	24	25	26	27	28
				最終 本会議		
29	30	31				

## 編集あとがき

議会だより愛読者のみなさん、お元気ででしょうか。  
 この度、前任の議会だより編集委員長奥晃郎議員より委員長を引き継ぎました。2年間よろしくお願ひします。

さて、今年も災害、紛争、物価高騰から生活を守る  
 ことなど、ひとり一人の議員が、市民の要望や意見を  
 よく聞き、議会で当局と真摯に議論しなければなら  
 ない事案が増えていくことが想定されます。令和5年の  
 選挙で9名の新人議員を迎え、新風を吹き込んだ奄美  
 市議会も2年が経過し、折り返しの時期となりました。  
 ひとり一人の議員それぞれに得意分野がありそう  
 です。切磋琢磨して議員活動に励み、当局と良い緊張関  
 係を保つことが、市政の発展には市民の幸せにつ  
 ながるものだと思います。そして議員を育てるのは、  
 市民の叱咤激励によることも大きいかも思っています。  
 議員活動が旺盛になれば、議会だよりもより読  
 み応えがあるものになると思います。今後ともよろし  
 くお願ひします。

【崎田 信正】